

ジュニア賞

国際手話を楽しむダンスゲーム

西川 葵（高校3年生：神奈川県）

現在、複数の言葉が飛び交う多言語の国や地域が多くある中で、世界の人々が平等で日常生活で困ることなく暮らすには、まず障害者向けの言語を使っていくことが大事だろうと考えた。

日本で使われている手話は海外では通じないが、世界共通言語のひとつの国際手話を使えば誰とでも会話をすることが可能である。だが、普通に手話を覚えることは大変だ。

そこで私は、誰でも簡単に楽しく自然と国際手話を覚えられるダンスゲームを提案する。①テレビ、パソコン、スマートフォン等の液晶画面に歌詞の意味とマッチしている国際手話を使ったダンスの映像が流れる。その映像に合わせて動き、国際手話を覚えていく。②動きに合わせて Perfect、Great、Good、Bad の4つの判定機能をつけポイントを獲得できるようにする。そのポイントを使うと踊る曲数を増やすことができる。以上が「国際手話を楽しむダンスゲーム」の大まかな内容である。

このゲームは国際手話を覚えるだけでなく、利用者にメリットが多くあるといえる。まず、体を動かすことによって生活習慣病対策になるだろう。すべての液晶画面と繋がっているため、いつでもどこでも好きなタイミングで体を動かすことが出来る。さらに、運動は心や体のリラックスだけでなく、脳の働きの活発化にも効果的であるため脳を若く維持することができ、認知症の予防にもなるだろう。

このゲームによって世界問題となっている肥満化、認知症を抑えると共に多くの人にとって国際手話が日常的なものになってほしい。